

# 2014年、話題の女お笑い芸人 フェリス卒・高松なな 20歳

2014年 1月19日



**たかまつ なな**(1993年7月5日 - 20歳)は、日本のお笑いタレント。

本名、**高松 奈々**(たかまつ なな)。女性。神奈川県横浜市出身。フェリス女学院中学校・高等学校卒業、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス在学中。サンミュージックグループ所属(2013年3月～)。曾祖父は東京大学名誉教授で応用化学者の高松豊吉。

2013年、R-1ぐらんぷり2013で、フリー(当時)としては唯一の準決勝進出。同年、日本テレビの『日本一テレビ・ワラチャン! U-20お笑い日本一決定戦』で決勝進出、優勝。同年、第9回『出版甲子園』で「学生芸人!たかまつななのダメ出し紀行!」という企画をプレゼンテーションし、準グランプリを受賞。中学1年生の時に読売新聞子供記者団に入り、子供記者として6年間活動する。また、2011年から第14代高校生平和大使として国連大使も務めた(ジュネーブ軍縮会議出席など活動)。

お笑いの活動は中学生時代から始める。お笑いを意識したきっかけは、中沢新一と太田光(爆笑問題)の共著『憲法九条を世界遺産に』(集英社新書)を読んだこと。中学3年生の時に新宿区と吉本興業主催のお笑い大会『ちびっこ漫オグランプリ』でトリオで出場、決勝進出。『漫才本甲子園』では2009年、2010年と2年連続で佳作を受賞。

将来はお笑い芸人になると決めて高校2年生頃までは大学進学を考えてはいなかったが、社会・科学・文化などの諸問題・話題などの物事を広く見たいと思い、大学進学を決めたという。

**フェリス女学院出身であることを活かし、フリップをめくりながら演じる『お嬢様言葉』のネタシリーズが代表例。**

各界の名言や流行語、アニメの名セリフ、有名なギャグなどをお嬢様言葉に変換するなど、いくつかのお嬢様言葉シリーズのネタを披露している。この他には、桃太郎などの有名な物語・寓話に法律上の視点を絡めた「昔話の上での疑問点」のネタなどがある。また、これまでには一人コントも演じていたことがある。

なお、芸人活動を始めるにあたって、フェリスの生徒指導主任から「絶対に友達や他人を傷付けず、清く正しく品格あるお漫談をやりなさい」と言われ、今でもこれを心掛けているという。



「本日、わたくしが使っているお嬢様言葉を紹介したいと思います」と、ネタを始めます。

■まず「お手洗いの行き方」として、「庶民の方なら、「お手洗いに行ってきます」と言うところを）、お嬢様なら「お花摘みに行って参ります」

■「さらに、お大便をもよおした場合には「バラの木を伐採して参ります」などと紹介、お客さんからは爆笑が起っていました。

■さらに「クソじい！」をお嬢様は「バラおじさま」、

■「「屁こいたの誰だ！」をお嬢様は「天使のつぶやきが聞こえましたわ！」、

■「「自転車パクられた！」をお嬢様は「青い鳥が逃げましてよ！」などと紹介していました。

■「「お前、絵へたくそだな！」をお嬢様は「ピカソってご存知！」

■「「腹いたい！」をお嬢様は「天使をみごもりました」

たかまつななさんの夢は「お笑いを通して、社会問題を発信すること」だそうです。